

information 情報掲示板

お得なご招待や日々の暮らしに役立つ情報など

「阪急三番街 Presents Dream Live 2013」 ご招待のご案内

阪急阪神ホールディングスグループのショッピングセンター「阪急三番街」が実施するプレミアム・ライブ「阪急三番街Presents Dream Live 2013」に抽選で800名様(200名様×4公演)をご招待いたします。
こちらのライブには、ピーボ・ブライソンを中心に国内外を代表する実力派アーティストが共演。オーケストラ、バンドによる生演奏で他では観ることの出来ない夢のコラボレーションライブをお届けします。

出演アーティスト： ピーボ・ブライソン、宮沢和史、BENI、K、別所哲也(The Dream Magic Owner) 他

場所： 梅田芸術劇場メインホール 3階席

公演日時： ①2013年1月22日(火)15時～ ②2013年1月22日(火)19時～
③2013年1月23日(水)15時～ ④2013年1月23日(水)19時～
※①～④のご希望公演、ご希望枚数をお選びいただけます。
※公演時間は約120分です。

ご招待数： 800名様(各回200名様)

対象年齢： 3歳以上
2歳以下のお子様のご来場はショーの演出上、お断りいたします。

応募締切： 2012年12月15日(土)
12月下旬頃にご招待状をお送りいたします。

協賛： 阪急不動産株式会社 ※詳しくは同封の用紙をご確認ください

申込 大阪市ボランティア情報センター 担当:修田
☎:06-6765-4041

「帰りたい・帰れない」 ふるさと交流会「うっふんはらすべの会」

近畿内で避難生活を送られている中高年の皆様へ。
皆さんの抱えている問題・課題をいっしょに考える機会にしませんか?
東北の酒と味覚を肴に故郷の訛りで「故郷の想い」をわいわい語りながら交流する「中高年に特化した避難者ふるさと交流会」を開催します。

日時： 12月22日(土)14時～

場所： 大阪市中央区久太郎町1丁目8-9
船場中央ビル3階
NPO法人まちづくり支援協会 内
地下鉄「堺筋本町」駅7番出口徒歩1分

対象： 中高年の男性 女性でも参加可能

参加料： 500円
一つ食べ物を持って来れる方はお持ちください

申込み： 電話:06-4964-1122
E-mail:maruttonishi@gmail.com まで

主催： 東日本大震災県外避難者西日本連絡会
まるっと西日本

ご質問、ご連絡等は・・・



IMONIKAI バックナンバーもお送りできますので
ご希望の方はご連絡ください。

社会福祉法人大阪市社会福祉協議会 大阪市ボランティア情報センター
〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町 12-10 大阪市立社会福祉センター内
Tel 06-6765-4041 / Fax 06-6765-5618
《利用時間》
月～金曜 9:30～20:30 土曜 9:30～17:00
《休館日》
日曜・祝日・国民の休日及び
年末年始(12月29日～1月3日)
E-mail: ocvic@osakacity-vnet.or.jp

東日本大震災被災避難者 受講生募集

楽しい友、仲間を作りながら、シニアの社会経験や豊かな知識を活かす学習講座を開講している大阪府高齢者大学校が、東日本大震災により大阪府下へ避難されている皆様の受講を無料で募集いたします。

大阪府高齢者大学校は25年度に全54教科(本科33科目・研究部21科目)で
内12教科が新設され、さらに強化されました。

講座説明会 いずれの会場も、14:00～15:30
◇大阪市 12月14日(金)・15日(土)16日(日) 会場 大阪市教育会館7階
◇堺市 12月17日(月) 会場 ビッグ・アイ(国際傷者交流センター)1階
◇豊中市 12月18日(火) 会場 千里中央「千里公民館」2階
◇寝屋川市 12月19日(水) 会場 「寝屋川市民会館」2階

受講料： 申込先着10名様 受講料無料 通学交通費1日500円支給

受講資格： 平成25年4月～26年3月までの全期間を受講できる方
(居住地・年齢は不問)

申込受付日： 12月20日(木)から先着順

申込： 同封のパンフレット内、25年度受講申込書をご記入のうえ、
郵送または窓口にご持参いただいてお申込みください

資料申込・問合せ先
NPO法人大阪府高齢者大学校
〒540-0006 大阪市中央区法円坂 1-1-35 大阪市教育会館 (アネックスパル法円坂) 4階
TEL:06-6360-4400 FAX:06-6360-4500
Email:info@osaka-koudai.com URL: http://osaka-koudai.com/

同じ故郷の人から「元気ですか？」 安否確認コールのお知らせ

震災からもうすぐ2年。県外避難者連絡会まるっと西日本内で、出身が同じ県の避難者が「お元気ですか？」と安否確認のため、お電話します。
電話は平日10時～16時の間です。

お申し込みは、電話またはメールで

申込み： 電話:06-4964-1122
E-mail:maruttonishi@gmail.com まで

利用時間： 平日10時～16時

利用方法： ・お名前
・出身県と市町村
・今いる市町村
・年齢
・電話番号(固定電話)なければ携帯の
番号をご連絡ください。お電話はこちらからかけます。

主催： 東日本大震災県外避難者西日本連絡会
まるっと西日本



東北と大阪を繋ぐ情報紙

IMONIKAI

いもにがい

第18号：平成24年11月

発行 社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会
大阪市ボランティア情報センター
住所：〒543-0021
大阪市天王寺区東高津町 12-10
大阪市立社会福祉センター内
電話番号：06-6765-4041
FAX:06-6765-5618

協力 大阪弁護士会
大阪市各区社会福祉協議会

里帰り×ボランティアバスを企画します！

1月12日から15日にかけて、大阪市ボランティア情報センター・市民フォーラムおおさかでは、県外避難をされている皆様が帰省される手助けとして、また被災地への継続した支援活動のため避難者・ボランティアの乗合バスを企画いたします。なかなか帰省する機会がもてないというお声もありますので、この機会にぜひご利用ください。



行先： 東京経由 福島県郡山市へ

降車地： 東京駅・いわき駅・郡山駅 (予定)

対象： 東日本大震災により県外避難をされている方

料金： 無料 (里帰りの方のみ ボランティアの方は有料となります)

日程： 1月12日(土) 大阪を出発～福島へ
1月13日(日) ボランティア参加者の現地活動
1月14日(月・祝) ボランティア参加者の現地活動・帰りのバス出発
1月15日(火) 大阪へ到着

申込・問合せ 大阪市ボランティア情報センター (担当:溝渕・修田)
電話:06-6765-4041

12月のCafe IMONIKAIのご案内

日時： 12月26日(水)
10:00～15:00
※12:00～13:00はお昼休みとなります。昼食は各自でご用意ください。

場所： 大阪市立社会福祉センター
(天王寺区東高津町 12-10)
地下鉄「谷町九丁目」駅、近鉄「大阪上本町」駅 11番出口

申込： お電話またはEメールにてお申込みください。
Eメールでのお申込みには、お名前、参加人数をご明記ください。
☎:06-6765-4041 (担当:修田・棕木)
E-mail: vicpc01@osakacity-vnet.or.jp



Cafe IMONIKAI 一日遅れのクリスマス会 12月特別企画！こどもサンタのプレゼント！

12月26日、クリスマスはきのうだったけれども、まだまだ楽しみたい！それじゃあ、こどもたちがサンタになりきって、一日遅れのクリスマス会をしよう！こどもサンタからおとなに、ホイップクリームをトッピングしたおいしいスペシャルスイーツコーヒーのプレゼント！がんばってくれた子には、もう一度サンタさんが来てくれるかも・・・？
さらに、プロのマジシャンがやってきてマジックショーの披露があります。不思議な手品に大盛り上がり！一日遅れのクリスマス会、ぜひお楽しみください！

対象： 県外避難をされている方どなたでも お子様連れでなくても大歓迎！
※参加人数を把握する必要がありますので、参加を希望される方は必ず12月19日までにご連絡ください。

10月のCafe IMONIKAIでは・・・



10月24日(水)に開催いたしました。
おいしいコーヒーが楽しめるのもあってか、男性の参加が多くありました。
ボラセン職員手作りケーキの差し入れもあり、4人の参加者さんはおいしいひとときを過ごされました。

イベントスケジュール

13:00～13:30
コーヒートッピング体験

13:30～14:00
おやつタイム

14:00～14:30
マジックショー

14:30～
サプライズ???



3.11 from KANSAI 2013 連動企画 ～クリスマスの贈りもの in 梅田スカイビル～

震災からちょうど一年に開催した震災復興応援イベント「3.11 from KANSAI」が、ふたたび2013年3月10日に開催されます。その連動企画「サンタが100人やってきた」のピーアールの一環で、クリスマス特別イベントを開催いたします。避難者の皆様向けのお楽しみも揃えていますので、どうぞお越しください！

3.11
from
KANSAI



日時: 12月11日(火) 17:30～20:00
場所: ミナDEカオウヤ 梅田スカイビル店
対象: 県外避難者の方で、報道メディアの取材を受けていただける方
参加費: 無料

内容: ①クリスマスマーケットへのご招待
メリーゴーラウンド・ミニSLの体験
オリジナルマグカップのプレゼント など
②東北の食の提供と気仙沼の物販
東北名物「芋煮」の振る舞い など
③サンタからのプレゼント
「サンタが100人やってきた!!」プロジェクトより
お菓子のプレゼント

締切: 12月4日
申込: 大阪市ボランティア情報センター
☎:06-6765-4041



サンタが100人やってきたとは？

12月22日(土)23日(日)24日(月)の3日間、岩手県の三陸沿岸の被災地を中心に、サンタクロースに扮したボランティア100人が集結！音楽や大道芸で、地域のみなさんと一緒に笑い、クリスマスプレゼントを配ります。

開催場所: 岩手県大槌町、大船渡市、釜石市、陸前高田市、遠野市を予定



第2回御堂筋 東北復興支援バザーが開催されました

5月にも開催された、大阪ガス「小さな灯火運動」・株式会社りそな銀行主催「御堂筋東北復興支援バザー」の第2回が、10月23日から26日にかけて開催され、そのうち25日、26日に大阪市ボランティア情報センターもブースを出展しました。

今回は「避難者という存在を広く市民に知ってもらう」ということをテーマとし、避難者自助団体と協力し「避難ママのお茶べり会」「まるっと西日本」「関西Futureコミュニティ」の活動報告のパネル展示、道を行き交う人へのチラシ配布を行い、チラシのセットには前回のバザーでもご協力いただいたNPO法人Cafe MILLO特製の「くるみ味噌クッキー」を添えました。

また、関西Futureコミュニティは同ブース内で避難者オリジナルデザインのトートバッグなどを販売しました。売り上げは同団体の活動費として交流会などで使用されます。「避難者は支援を受けるだけではなく、自身で何か活動をしていくことがとても大事」と代表の江口さんはおっしゃっていました。



避難者自助団体について詳しく知りたい方は、
大阪市ボランティア情報センターまでご連絡ください！

大阪府下避難者支援団体等連絡協議会 「ホッとネットおおさか」 第3回定例会が開催されました

11月19日(月)、大阪府下の避難者支援団体がつどう、「ホッとネットおおさか」第3回目の定例会が開かれました。今回は参加者が5つのグループに別れ、それぞれのテーブルでディスカッションを行い、今の避難者支援に必要なもの、今後取り組んでいくべきことなどについて話し合いました。

避難者の実態把握や相談窓口の設置、避難者とコミュニケーションをどのようにとっていくかなどの課題を



見つけ、これまで開催した交流会・支援イベントのノウハウなど団体ごとの強みを共有しあうなど、参加された団体は有意義な情報交換の場をもつことができました。現在、ホッとネットおおさかに加入する団体は88団体。広がっていく支援の輪がどんどんつながるように努めていきたいと思います。

ファイブフォーファイブ
球根
シェア
5 for 5
被災地にも、私にも5球ずつ

咲くやこの花館でスイセンの球根を植込みました

10月27日(土)、鶴見緑地公園内の咲くやこの花館にて、被災地に花を咲かせたい想いからスイセンの球根を被災地へ送る活動をしている「スイセンプロジェクト・球根シェア5fro5」により球根植込みイベントが行われ、県外避難者10人が参加されました。

球根シェア5fro5とは、スイセンの球根5球1セットを買うと同じく5球、被災地へも届けられ、それぞれの地で植えて、寒い冬を越えて春を迎えたときに被災地のみなさんとともにスイセンを咲かせる同じ喜びを分かち合おう、というプロジェクトです。今回は身近にもいらっしゃる広域避難者のみなさんとも、このプロジェクトを実行したいということで実現しました。

植えた場所は咲くやこの花館の敷地の一角。もとの住まいでは広い畑や庭があった方も、大阪では公営住宅などに入居されて普段なかなか土をいじる機会がなく、住宅のささやかな花壇を手入れするぐらいしかできていません。久しぶりの土いじりをとても楽しまれていました。中にはもっとたくさん植えたい!というお声もあり、もっとと自然とふれあえる場をご用意できたら・・・とも感じました。

植込みの後には国内最大の温室植物園である咲くやこの花館の館内ツアーとなりました。熱帯や乾燥地帯など世界中の植物が集う館内を、参加者のみなさんはガイドさんのお話に耳を傾けながら見学されました。特徴的な香りのする植物を前に「この植物、実はカレーせんべいのにおいがするんですよ」とガイドさんが話すと参加者のお子さんはくんくんとにおいを嗅ぎ「ねえ!鼻でカレー食べたよ!」と弾ける笑顔で言いました。素敵な表現に思わずみんなにっこり。「じゃ、今日はカレーにしよっか?」となごやかな雰囲気の中、館内ツアーを楽しみました。

春には花を咲かせるスイセン。その日が待ち遠しいですね。

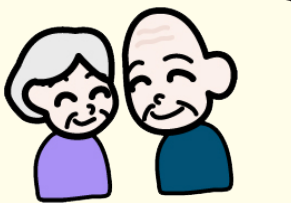
スイセンプロジェクト 球根シェア「5fro5」 http://www.totomoni.net/project_suisen/



方言の交差点

—東北弁と大阪弁が出会う場所—

消えゆく(?)方言



今、学生たちと茨木市にお住まいの65歳から80歳の方に方言についてインタビューしています。学生たちが驚くのは、聞いたことのない方言を教えていただいた時です。「ゆでたまご」は「ニヌキ」。「小皿」は「オテショウ」。「美味しくない」は「モミナイ」。「新品」は「イチチョウ」。関西の方言は若い人もよく使われていますが、伝統的な方言の単語は共通語化の影響で消えつつあるようです。特に「とうもろこし」を意味する「ナンバ」は衰退が進んでいるようです。

ところで、東北にも「ナンバ」とか「ナンバン」という方言があります。でも、「とうもろこし」ではなく「唐辛子」のことを意味します。なぜ同じ名前なのかというと、どちらも16世紀の南蛮(なんばん)貿易でポルトガルやスペインから持ち込まれた野菜だからです。つまり、大阪方言の「ナンバ」も東北方言の「ナンバ」もルーツは同じなのです。けれども、東北の若い人も「ナンバ(唐辛子)」を使わなくなっています。歴史のある方言だけに、このまま消えゆくのは寂しい感じがします。とはいえ、方言は消えゆくだけではありません。関西には若い人が復活させた「オカン(お母さん)」という方言もありますし、共通語の「来ない」の干渉を受けて比較的新しく生まれた「コーヘン」のような方言もあります(世代が上になると「ケーヘン」が使われます)。方言は衰退する一方で、新しく生み出されてもいます。それは大阪も東北も同じです。

(追手門学院大学講師 櫛引祐希子)

【方言募集】どんな疑問・質問でも結構です。ぜひ、ご連絡ください。

住所:〒567-8502 大阪府茨木市西安威2-1-15 追手門学院大学 櫛引祐希子
E-mail:yukushib@res.otemon.ac.jp